

官許
校正
增加
六諭衍義大意
上之卷

9
3439
1

六諭衍義大意

3439
1

清大祖康熙帝敕撰

享保年間 台命御改正之頃此

御書都鄙無漏脫普為萬民教示

依格別之 思召室直清本書之

和鮮並奉 御跋文教撰

日野一位准大臣資愛公御序

御儒官室鳩巢先生自序

官許

首書画入

校正增補

六諭衍義同附錄

全三冊

文化年中大坂町 御奉行

平賀信濃守殿序

天保年中交代御寄合衆

那須與一殿圖畫

同 御儒官 聖堂御附

佐藤一齊先生跋文

夫道也者 彛倫日用之所
履行而夫婦之愚亦不得
不率由也 蓋道在卑近焉
所謂百姓日用而不知是而
已 中庸曰君子之道辟如

新編
御儒官
室鳩巢
先生
自序
天明
二年
九月

行遠必自邇辟如登高必
自卑亦非徒求其高遠之
謂蓋言宜用心於近與卑
也清康熙帝有六諭教授
會稽范鏞為之衍義而琉人
程順則刻之其國以行焉

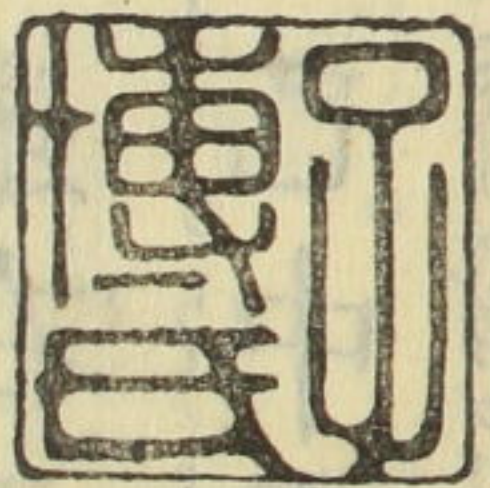
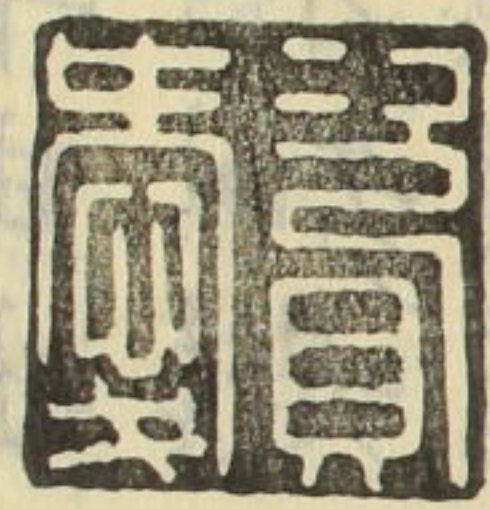
享保中有德公令薩州嶋津
家進一本後命儒臣室直清
國字解其大意標曰六諭衍義
大意余曾得刻于濃之岩村者
四五本讀之大喜即頒與采
邑村長令讀知焉夫康熙

帝近代賢主而有德公亦才
德賢明然至於其導士民尚
以卑近之教者最為可感嘆
矣近日勝田知鄉刻之其家
間以圖象加事歷於欄上且
近古以來不論士民男女貴

賤雅俗其最有節操實德
者九人國字作小傳加以評
語合刻以為附錄蓋克其孫
謀也因外人請題言於余以
讀而亦喜其大獲我心矣若
夫經籍史傳非苟識字者

難通於其意也而如此之
書雖謂婦女幼童一過可
得通曉其義為家家購求
戶戶讀誦而因習之漸自
然有所薰陶者則可不謂
有益于世教乎知鄉之志

可以嘉耳可以嘉耳天保
歲次甲辰春正月前權大納言
資愛



右御序譯文

夫道也者。彛倫日用之所履行而夫婦之
愚亦不得不率由也。盖道在卑近焉。所謂
百姓日用而不知是而已。中庸曰。君子之
道辟如行遠必自邇。辟如登高必自卑。亦
非徒求其高遠之謂。盖言宜用心於近與
卑也。清康熙帝有六諭。教授會誓。范鋹爲
之行義而琉人程順則刻之。其國以行焉。

享保中

有德公。令薩州島津家進一本。

後命儒臣室直清。國字解其大意。標曰六

諭。行義大意。余曾得刻于濃之岩村者四

五本。讀之大喜。即頒與采邑村長。令讀知

焉。夫康熙帝近代賢主而。有德公亦才

德賢明。然至於其導士民。尚以卑近之教

者。最爲可感嘆矣。近日勝田知鄉。刻之其

家。間以圖象加事。歷於欄上。且近古以來。

不_レ論_二士_一民_二男_一女_二貴_一賤_二雅_一俗_二其_一最_二有_一節_二操_一實_二德_一者_二九_一人_二國_一字_二作_一小_二傳_一加_二以_一評_二語_一合_二刻_一以_二爲_一附_二錄_一蓋_二充_一其_二孫_一謀_二也_一因_二介_一人_二請_一題_二言_一於_二余_一余_二讀_一而_二亦_一喜_二其_一大_二獲_一我_二心_一矣_二若_一夫_二經_一籍_二史_一傳_二非_一苟_二識_一字_二者_一難_二通_一於_二其_一意_二也_一而_二如_一此_二之_一書_二雖_一謂_二婦_一女_二幼_一童_二一_一過_二可_一得_二通_一曉_二其_一義_二焉_一家_二家_一購_二求_一戸_二戸_一讀_二誦_一而_二因_一習_二之_一漸_二自_一然_二有_一所_二薰_一陶_二者_一則_二可_一不_レ謂_二有_一益_二于_一世_二教_一乎_二知_一

郷_二之_一志_二可_一以_二嘉_一耳_二可_一以_二嘉_一耳

天保歲次甲辰春正月

前權大納言資愛

日野准大臣一位公の御事也

右御序のべすまうわづかく此六諭衍義ハ

八代將軍様 本朝の士民を、忠孝節義の道を知らしむ

るハ此六諭は、ゆきまはるは、ちて、室鳩巢先生、台命ありて、

假名^{かりな}を^を読^よま^して^しけ^しめ^し様^{よう}よ^うと^と 忍^{しの}む^むこ^こう^うも^も

自^{みづか}ら^か御^ご政^{せい}文^{ぶん}を^をも^もと^と為^な成^{せい}と^と 鳩^{きう}果^{くわ}先^{せん}生^{せい}小^{せう}と^と 所^{しよ}趣^{すう}意^いを^をこ^こ

と^と先^{せん}徳^{とく}國^{こく}は^は満^{まん}ち^ちも^もも^も満^{まん}ち^ちも^もか^かく^く読^よむ^む人^{ひと}ト^ト忠^{ちゆう}孝^{かう}節^{せつ}

義^ぎの^の道^{どう}を^をく^くと^とし^して^て人^{ひと}多^{おほ}く^くと^と御^ご觸^{しよく}流^{りゅう}一^{いつ}遊^{いう}を^をし^して^て専^{せん}ら^ら此^{この}六^{りく}

諭^うを^をよ^よと^とそ^そん^んど^どあ^あや^やと^と人^{ひと}多^{おほ}く^くと^と都^との^の士^し民^{みん}自^{みづか}然^{ぜん}と^と忠^{ちゆう}孝^{かう}節^{せつ}

義^ぎの^の道^{どう}を^をく^くと^とし^して^て人^{ひと}多^{おほ}く^くと^と仁^{にん}風^{ふう}一^{いつ}覽^{らん}と^とい^いふ^ふ書^{しよ}

出^で来^きま^まし^して^て是^{これ}今^{いま}く^く六^{りく}諭^うの^の餘^{あま}董^{どう}と^とあ^あら^らど^どや^やと^とあ^あら^らは^はふ^ふ今^{いま}と^とい^いふ^ふ

百^{ひやく}有^{いう}餘^{あま}年^{ねん}の^の星^{せい}霜^{そう}を^をう^うつ^つて^て六^{りく}諭^うの^の公^{こう}目^{もく}と^とい^いふ^ふ人^{ひと}の^の稀^{まれ}

よ^よか^かと^と果^はく^くは^はい^いと^と歎^{かな}う^うに^に事^{こと}小^{せう}あ^あら^らず^ずや^やと^と忠^{ちゆう}孝^{かう}節^{せつ}と^とい^いふ^ふ

い^いふ^ふも^もて^て事^{こと}保^ほの^の 所^{しよ}趣^{すう}意^いを^を復^{ふく}古^こと^と奉^{ほう}ら^らと^とや^やと^と忍^{しの}む^むこ^こう^うも^も

い^いふ^ふこ^こう^うも^も 公^{こう}願^{がん}と^とし^して^て奉^{ほう}ら^らと^と新^{しん}と^とい^いふ^ふ 所^{しよ}免^{めん}を^を蒙^{もう}り^り此^{この}六^{りく}諭^うを^を再^{また}

刻^{こく}に^に近^{きん}古^こと^と奉^{ほう}れ^れあ^あら^らと^と忠^{ちゆう}孝^{かう}節^{せつ}の^の人^{ひと}に^に其^{その}畧^{りやく}傳^{でん}を^を抄^{しやう}出^でし^し 幼^{よう}童^{どう}少^{せう}女^{にょ}れ

為^なる^ると^と加^かへ^へ朝^{あさ}夕^{ゆふ}れ^れ此^{この}六^{りく}諭^うを^を暗^{あん}記^きと^とい^いふ^ふ先^{せん}入^{にゅう}師^しと^とい^いふ^ふれ^れ読^よみ^みて^て

自^{みづか}然^{ぜん}と^と忠^{ちゆう}孝^{かう}節^{せつ}義^ぎと^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と人^{ひと}且^{かつ}併^{へい}家^かと^とい^いふ^ふも^も離^り俗^{ぞく}推^{すい}尼^に讀^{どく}

経^{きやう}の^のる^る餘^{あま}と^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と道^{どう}義^ぎと^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と様^{よう}様^{よう}と^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と或^{ある}は^は使^しの

僧^{そう}の^のつ^つと^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と我^{われ}と^とい^いふ^ふと^と古^こ稀^きと^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふと^と目^めも^も耳^{みみ}元^{げん}疎^そと^と

して、しん
くわん
 寛然として人事もあつて守り苦をもちする此激志をあきらめて
 寛然として人の事保つ
 御趣意を伏しおの今々御仁政の餘海を
 蒙中よりふたたび、蒙
 御代に威を初め子孫は忠孝節義の
 道をもち給ひむこう肝要あり此六論ハ勸善の御觸書にて狂言者
 流の革冊紙と違ひ聖人の道をおし書きなすば此書をよみても同を
 もさるひ自然と道をまもるにいつては財寶を捨て子孫は跡を
 よりいふかよふされ玉寶ハ此六論衍義せんものなり

也。掛ひり。古今多きものい。只費をさるる者と悟。人改改は
家業をさるけ。其外何事をもくも。勤一と改改はめて悟と悟む
教ひり。只身の爲のをもくも。天地忠實利の肖をもくも。ためく存。
実情よりけり。され。吾事也。たつる。ある。彼も是と事
志不行居い。元教のたつる。め。ある。何くも。此六つ改改は
い。生涯の損も。改改は。ない間。右書籍送ひたり。

右者。文化五戊辰年閏六月。平賀信濃と改大坂町。奉りたり。一。時。享保の往昔。
此六論衍義の普くけり。海内の風俗淳厚あり。改改は。仰ふ。慕とれ。遂
よ。思ひ立事。けり。此書と大坂市中。一。物。一。不。能。ある。其。所。又。改改は。一。不。
能。の。趣。意。と。示。る。所。別。よ。う。此。序。文。と。傳。り。簡。潔。附。く。終。り。と。と。
改改は。志。の。親。切。ある。感。謝。改改は。不。能。ある。事。あり。

六論衍義は。琉球に程順則といひ一人。其國小印行
一。げ。改改は。か。我。邦。を。傳。来。せり。志。く。あ。り。
唯。單。本。の。一。つ。あり。和。同。の。け。り。文。府。に。お。き。め。り。
是。多。世。に。人。是。改改は。事。あり。其。書。俚。俗。淺。近。の。語。
改改は。善。を。と。め。惡。を。い。ま。む。事。偏。は。親。切。也。
あ。り。改改は。世。に。流。布。一。人。名。教。誡。と。な。り。終。り。
一。つ。改改は。有。司。の。人。が。一。つ。改改は。奉。り。書。坊。に
命。一。つ。改改は。小。銀。と。も。然。る。か。い。や。と。編。り。民。か。と。り。
漢。土。の。文。字。改改は。見。習。う。改改は。此。書。を。讀。了。其。意。改
改は。事。が。い。ふ。一。是。小。より。重。多。愚。片。不。作。多。其。大

略をとりぬ。和語残る。是をとりぬ。本書毎篇
 う末に律例をつけ。又古人の事跡残載たり。其律例を
 我邦に法より異同有り。用捨ありて。新ひがく。
 其事跡い。の物語あり。ちて緊要あり。あす。
 此二川。並に本書にゆはり。爰に除きけり。唯手近
 簡約あり。窮源不色。及ひ。賄の男賤。廿まで。常
 に讀ま。より。あふ。の意。今。爰に。其。義。指
 成。同。和語。あり。あ。世。と。あ。且。序。と。み。
 う。享保七年壬寅。の。二月。月。季。室。直清。の。思。成
 志。す。と。志。り。利。

黄杏

往昔黄香と云う人

九才れ時母世にき

けるに。其か。大

た。明暮。あ

き。ひ。あ。成

どう。残。一。人。の。父。お

仕。い。い。と。あ。あ

か。夏。の。冬。暑。い。

弱。を。り。て。臥。処。を。仰

お。冬。け。寒。い。其。身

残。り。て。臥。処。を。温。め

父。の。あ。り。し。い。新。衣

を。ま。ち。て。吾。身。も

ま。い。ろ。朝。い。と。く。起

出。る。食。事。の。い。け

首書 画入

六諭衍義大意

勝田知卿増訂

男知直 孫知之 校

孝順父母

凡世間ふあ人貴く。賤く。父母の

う。あ。る。人。や。あ。る。さ。れ。い。父。母。を。我。身。に

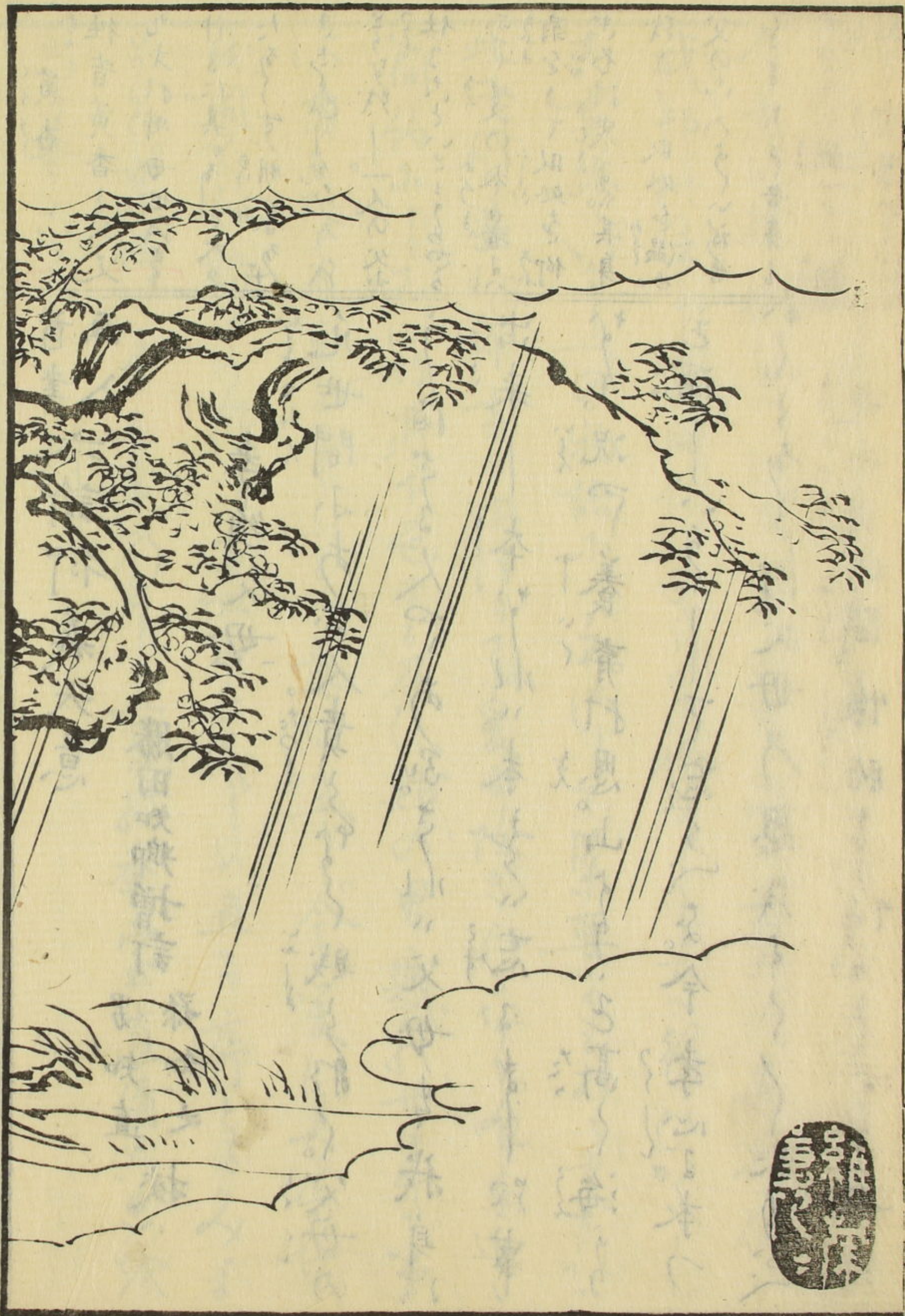
出来。一。本。が。い。い。本。を。い。忘。る。ま。に。事

なり。況。や。養。育。れ。恩。山。より。と。高。く。海。より

と。深。い。う。て。忘。る。ま。今。孝。心。は。本。つ

かん。と。あ。る。は。父。母。の。恩。残。り。と。た。り。て

先。十。月。の。間。懷。胎。し。て。う。り。り。母。成



乃心ふかのふて身
 苦しめらるるを竭
 孝行せしけり
 十六六六後
 いふふふふふ
 大官小至りけるや

王祥

王祥といふ父を王
 融といふ王融の妻
 早く死しけり
 其腹小を男子出来

苦む。生き出。幼稚れ不。父母うに。
 昼夜艱難辛苦。つれづれあうまうせ
 をいひて抱きとる。女も病うつ煩
 けき。神ふいの醫。けり。身か
 り度不に。唯子乃息災。成
 長もを待。外。何れ願。其子
 ね。其ため。師。撰。藝を習せ。
 人。を。思。家。を。に。む。同。に
 縁。を。婦。む。ん。栄。行。を。成
 小。又。世。小。立。ま。を。見。て。或。悪。き。友。小。も

名。王。覽。と。喚。け。後
 母。我。子。乃。生。長。す。に
 此。後。母。李。氏。好。庭
 に。植。實。れ。熟。せ。る。時。に
 王。祥。小。看。守。せ。る。に
 め。ける。ち。風。雨。を
 け。た。る。其。木
 了。実。の。落。ん。で。残。た
 け。も。と。ふ。む。あ

ひうも。或。不。慮。り。難。う。と。あ。ん。う。と。い。ま。こ
 目。に。見。え。ぬ。事。す。と。と。な。る。心。苦。く。に
 小。不。と。す。べ。一。生。れ。と。あ。み。何。事。う。子。乃
 小。せ。ぬ。事。や。あ。る。何。と。の。時。う。子。乃。に。も
 小。時。や。あ。る。是。れ。厚。恩。た。と。い。報。し
 小。と。す。と。と。責。て。孝。行。小。と。養。ふ。と。よ
 事。なり。其。孝。行。と。云。は。貧。富。貴。賤。い。も。の。つ
 小。不。同。あ。れ。必。ち。父。母。乃。衣。食。結。構
 小。と。言。ふ。と。何。と。す。唯。分。限。相。應。小。父。母
 小。飽。暖。なり。や。小。す。べ。父。母。年。た。け。後

といふ強く。或い
酒の中は毒銭を殺
さんとたふしに。実
子の王覽。いりて是
銭をけり。ふや。見と
ともに。おんとせしに。
我子銭殺さんて。銭
にそれ。其後。いかり
をふかす。ふり。か
く。常水銭なるひ
田畦を耕さ。りり
責つ。いり。王覽も
兄。代りて身を苦
しめ。後母又。王
祥の妻。米をつ
せ。銭挽せぬ。い

い。大か。側銭をふれず。出入り。手銭ひき。いり
銭か。寝起。い。夜。ふ。朝。省。い。父母も
一病あり。昼夜帯銭をす。他事を捨て。看病
醫藥れ事。の。心銭つくす。い。い。弟。一に心
得。い。事。い。い。父母。身銭孝養す。い。其心
銭安。い。い。大なる不孝といふ。い。何事と父
母。教訓。い。い。世法を。い。い。身
銭守り家をた。い。其子。い。い。い。
を見。い。父母。い。い。い。い。い。
い。い。い。い。是。銭父母。い。志を養ふと言

王覽が妻。い。是。代
りて。勤。い。い。
い。母。い。い。無理
い。事。の。多。い。
中。寒。中。い。い。他
氷。い。い。い。い。
得。い。い。い。い。
食。い。い。い。い。王
祥。衣服。銭解。他。の。氷
け。い。い。い。い。解
んとす。王覽。い。い。
い。兄。い。代りて。い。い。
い。終。い。其。い。い。い。
い。凍。い。い。い。い。
魚。い。い。い。い。兄
弟。の。い。い。い。大か

い。い。い。常。に。い。い。い。い。い。い。い。父母
存。生。い。日。なる。事。銭。今。此。時。い。及。了。孝。養。を
い。い。い。い。父母。死。い。後。い。い。い。い。い。い。い。い。
い。い。い。い。山海。い。珍。物。銭。い。い。い。手。向。祭。る
い。い。い。い。時。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
い。今。の。世。い。人。父母。の。養。銭。大。切。い。事。に。い。い。い。
い。い。い。最。愛。の。妻。子。なり。い。い。い。妻。子。い。失。了。も
又。得。い。い。唯。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
い。い。い。い。い。い。父母。い。い。人。の。子。なる。者。是。銭
い。い。い。い。い。孝。心。銭。起。い。い。い。い。い。今。の

たろす。いと持
 子母すめめ。
 常に無理の心
 ぬる母也。其孝心
 心をもひ。是す
 和順孝行の行い
 王祥だんく立身
 大保とて大官
 各六官小をわけ
 寒中二面凍
 とす。唯一所

世で孝心ありと見ゆる人。大が妻残り。
 子をわく身なり。眼前妻子の愛ひひ
 きて。ものづう朝夕勤く。残く
 やーとたおも思ふ。きによろめ妻子に
 あい。いつとわく父母の悪事残す。不
 其言葉耳より心にほる。己も父母残りと
 む心なり。ゆるふ。つとあさほーき事
 なる。よく思ふ。我身十四五歳。妻を
 ふりのとわく。子とふりのとわく。此時我を
 養育せし人何人。我残人抱せし人何

人の恥。凍うさ
 所。今にあつと。孝心
 至る所。天地も感
 あつと。かすす
 報。ちあつと
 のふとわける。
 陣興

陣興とて。其家
 富。妻子ま
 常にうさ。き衣
 服を着。朝夕食
 事。美食を
 ける。陣興。兄
 する。其家貧に
 して。其日く。や
 くら暮しける

人う。然る父母にか。妻を残る事。あ
 ぶ。鳥け鳥。反哺。親。反す
 と。事あり。人。不孝。人たる本心
 見え。禽獣。お。たる。不
 ぬ。か。事なり。

詩曰

我勸世人孝父母
 懷胎十月苦難言
 每逢疾病更關心
 豈徒生我愛劬勞

父母之恩爾知否
 乳哺三年末親手
 教讀成人求配偶
 終身為我忙奔走

我勸世人孝父母

柳仲郢

尊散長上

古より今に至るまで。かゝるより大なる世界せうい。かゝる
をわづねて人民じんなれども。まづ一門の禮義らいぎを
もつてけしきと知しべし。いふ所るるありき禮義
なりといふ。主従しゅじゆ上下の差別なり。まづなり
る人と若わかき人との次第しだいなり。ぬ事なり。なり
んばく主従は。重おもき事なれども。主人と對たい
て無禮なるを。世上よりゆかざる事なり。未すなはく
まづも。主従の間あひだも。をうけり。禮義を存ぞん
せむがかり。けしき主人の尊敬そんけいする人なり

代端一立。叔父の
 通る過ぬるをす
 馬子の。家より
 叔父の。歸り来る
 おりの。衣服を平。形
 をあ。り。出む
 えぬ。又其兄の死
 ける。す。に服
 あけぬれども。が
 精進潔斎。粥
 啖。て。か。り。る
 情。も。ふ。あ。る
 を。ふ。す。か。る
 り。け。も。家。内。の
 異見。を。て。食。事
 成。す。む。も。兄。の

み。あ。る。事。な。れ。い。今。更。愛。し。ふ。に。及。る。は。是。小
 う。り。て。父。母。に。孝。行。す。る。さ。一。次。で。長。上。は
 尊。敬。す。る。代。弟。二。れ。教。へ。す。長。上。と。い。ふ。我。より
 年。ま。け。又。位。た。う。我。上。り。あ。る。人。代。は。也。
 中。川。一。家。も。い。う。男。女。代。い。う。す。我。親。方。は
 る。人。も。是。も。長。上。なり。但。一。長。上。は。尊。敬。す
 る。道。我。親。一。な。兄。より。始。まる。を。一。その。か
 ら。我。より。先。り。生。き。て。遂。に。父。り。代。る。人。の
 父。母。り。次。で。敬。ふ。な。は。ら。兄。り。あ。る。す。や。
 た。と。ひ。父。死。て。別。宅。り。居。る。と。い。ふ。常。小。卒

死。に。す。い。て。深。い
 た。心。は。あ。れ。い。く。で
 り。あ。る。食。事。は
 な。え。ん。と。な。代。は
 ぞ。め。す。あ。け。き。あ。い
 食。事。も。な。さ。居。る
 ける。と。人。倫。の。道
 小。敦。く。親。族。は。睦
 一。な。事。も。あ。る。の
 家。に。た。さ。め。る。其
 後。の。京。兆。れ。尹。と。い
 一。大。官。は。奉。用。さ。る
 世。る。も。お。も。く。宗。敬
 せ。る。と。け。る。是。の
 敬。の。道。代。守。り。和。睦

家。代。に。あ。ん。す。る。一。家。財。を。配。分。す。る。事。相
 違。あり。と。い。ふ。金。く。兄。り。裁。判。り。あ。る。か。ら。な。い
 是。ら。乃。出。入。ふ。り。て。兄。弟。れ。あ。と。一。代。失。ふ。を
 か。づ。若。兄。り。か。づ。す。一。て。我。り。非。道。代。か。は
 と。と。始。終。弟。なる。道。代。つ。く。一。て。兄。を。と。り。む。を
 か。づ。其。外。父。方。母。方。と。い。ふ。一。族。の。うち。年
 ま。り。と。人。を。い。う。ま。に。禮。義。代。は。く。一。て
 沁。ん。み。ろ。と。い。う。一。い。さ。り。無。禮。代。は。す。一。て
 い。な。れ。い。今。の。世。れ。人。親。族。り。恩。を。と。り。一。て
 長。上。を。尊。敬。も。る。事。代。は。と。い。ふ。或。ち。妻。子

の自然はかきくし所
天の報いちぢくく。
今けせまぐも。其名に
かく残りーい。い。い。
貴ふ事なす。

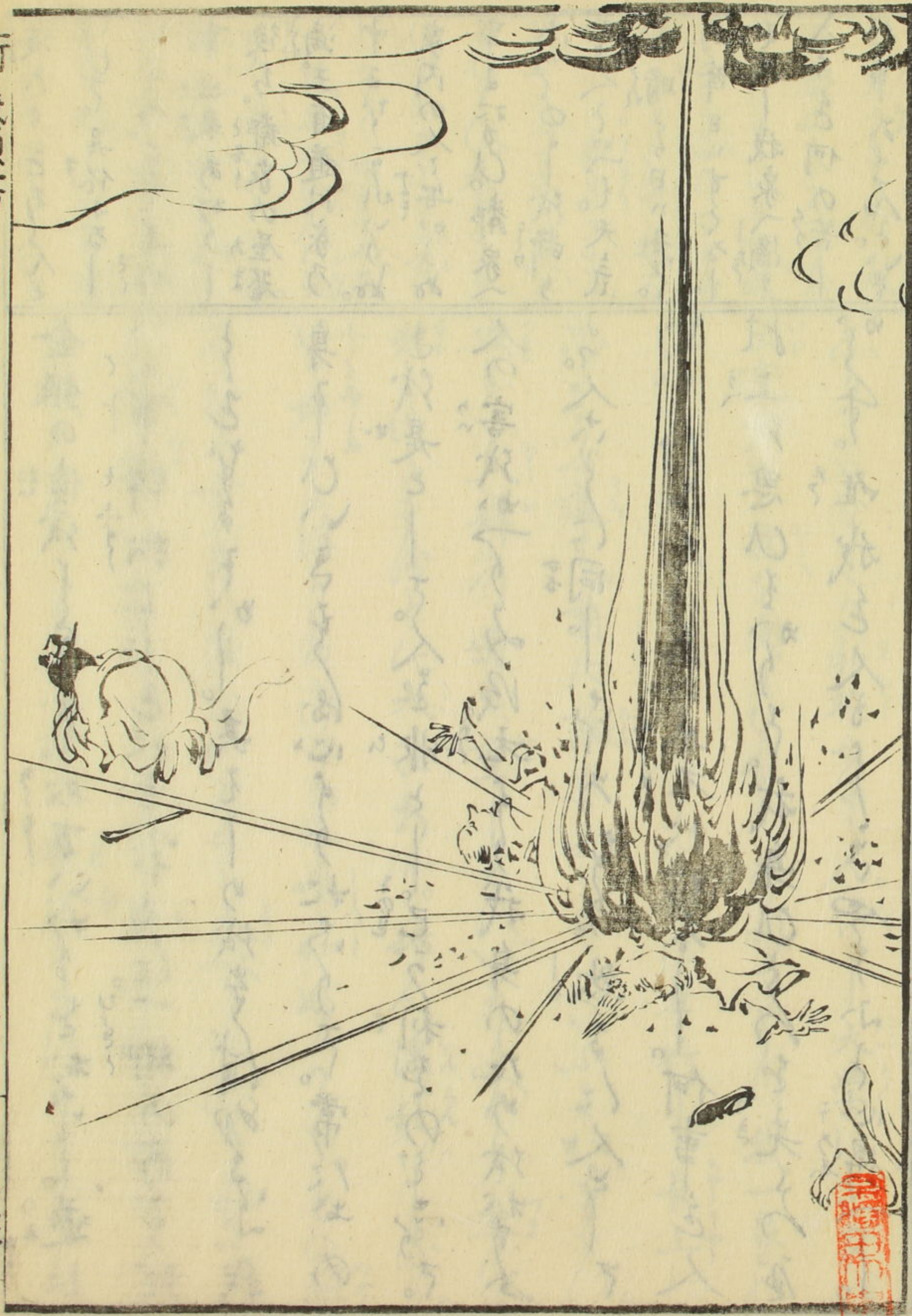
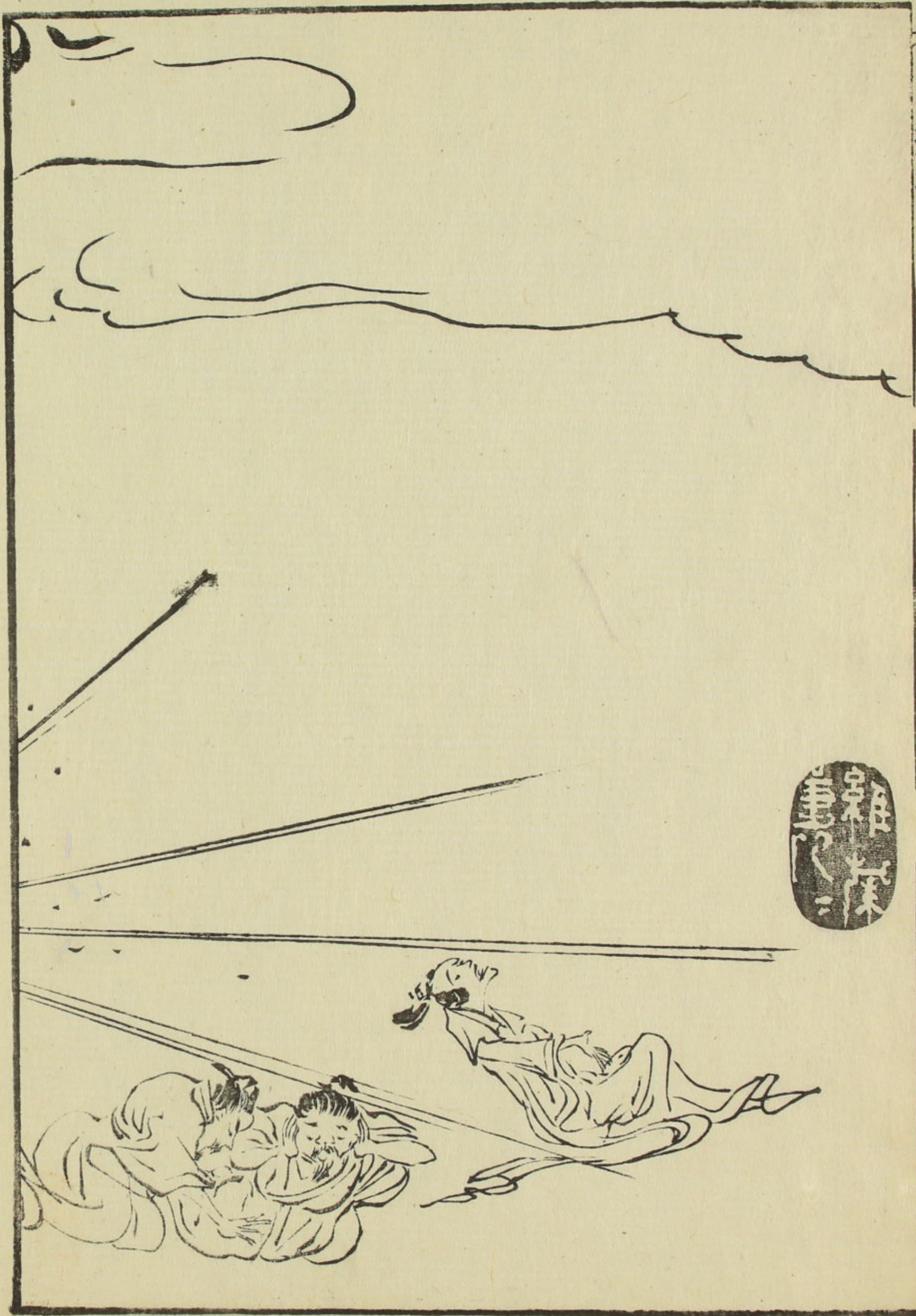
祝期生

祝期生と云ふ人常に
輕薄哉ありと云ふ。
ふづかき驕りたるが
大言殘吐ちと云ふ。尊
き人の前。年長う
人け前ありお出でと。
いさう敬ひ慎む
事あり。口はまかせ
空言。人をあはれと
り。我倦つと云ふ。酒

乃語おのことばまよひ。或ある貨財くわさいれ欲ほつひふれ。やも
 すまひ不和ふわなり。もてい兄弟けいだい親族しんぞくまうひに
 あうとひあをわう。天性てんせい骨肉かうにくれあうみ。
 忽變たちまちへんて仇敵あうかひきうおと。いゝあまはーな
 事ことなり。又他人たにんもてい。其年ねん齡れいう父ちちと同どう
 輩はいな人ひとをい。父ちち準じゆんて敬けいふ。我兄わがけいと同どう
 輩はいな人ひとをい。兄けい準じゆんて敬けいふ。孔子こうし知し
 村むらはあ。一いち族ぞく乃なり出合であひ。身み成なり引ひさ
 け。唯慎たうて。たふなり。聖人せいじんさく。の
 ぶと。況いんや常体じょうたい乃なり人ひと。もあ。を驕れいりある。

宴うたげれ席せきるゝも興きようふ
 せしめて手足残まら
 うひ戯たむけは好色の物
 語なり。それとあそ
 ぶ者。又い同郷の
 朋友ると内證なり
 事をあらはのあり
 語り何事にも後
 人の迷惑になる内
 れ事故外へひかり
 たたのこさねお！
 體貌より不具ある人
 を見て遠慮をもち
 そろりわづらひ貧乏
 人の衣服見たり
 き減見てはいやめ。

ぞりたる婦もまひあへず。坐もともふも
 下に坐し。行時ハ跡より行ぬ。かりそめ
 長上殿さ。おゆる事あるべし。長上殿前
 口にまじりて空言。奥よりさへなむ
 事するは。もろくも無禮なる事なり。是れい
 一むね。又長上殿中より其行ひ平く
 人鏡とをなす人もいふ。其外藝
 能あり。人け師匠をなす人はい。別
 是れ敬ぶ。又我より位高き人。たとひ
 卑弱なり。材徳なり。といふをす。



復ふとをあらんと
 いひて。其依ふる
 おきぬ。さて其作
 事出来あがり
 後。鄰家の屋簷
 滴。王有通れ家乃
 中。はなれし。如
 家内の人。毎か
 事。はなれし。鄰家へ
 去。の。はなれし。断り
 たり。と。いふ。天。え
 晴。る。日。は。多く
 雨。降。日。は。すくなく
 といふ。我家へ。滴り
 入。る。と。何の。苦
 む事。あらんと。いふ

金銀の債。成。し。て。了。す。双方。い。かり。を。お。ひ。す。遂。に
 公。事。訴。訟。し。て。な。り。ふ。ふ。と。一。郷。の。内。を。だ
 と。と。な。り。す。か。其。一。の。成。を。ば。め。る。ふ。我
 身。に。い。い。さ。も。心。を。り。に。あ。り。て。常。に。お。の
 成。是。と。い。て。人。を。非。と。い。て。已。う。利。を。の。と。し。て。
 人。の。害。成。か。つ。り。み。成。元。より。我。身。の。ため。成。が。り。ふ
 人。と。い。に。同。ド。の。り。なり。然。る。に。人。と。い
 げ。し。け。を。し。て。ぬ。い。木。石。に。お。ひ。す。何。事。を。人
 れ。上。成。思。ひ。を。かり。て。我。身。ひ。と。の。を。先。う。る。を
 か。ず。唯。我。と。人。も。い。さ。や。ふ。と。心得。べ。い。

取。合。ふ。と。い。ふ。或
 所。鄰。の。家。に。二。子。を
 り。け。し。に。王。有。道
 け。家。に。畜。木。を。し。て。お
 驢。つ。と。い。う。驢。を
 せ。に。鄰。家。の。小。見
 成。お。ろ。ろ。さん。と。い
 と。い。ひ。是。を。り
 他。は。出。る。ふ。と。い。ふ。又
 行。う。と。い。ふ。ゆ。え。又
 或。時。其。御。の。人。に。先
 祖。の。墓。の。か。ら。に
 論。祭。れ。碑。を。建。け
 る。が。人。の。飼。牛。放。て
 是。成。例。に。ける。墳
 守。れ。者。と。い。ふ。の。と

ふ。い。い。なり。和睦。せ。し。人。但。一。大。學。に。も。家。成
 出。ず。て。教。を。國。に。お。し。す。と。あ。れ。る。ま。り。我。一。家。れ
 む。つ。と。い。を。本。と。す。べ。い。父。母。に。孝。行。し。長。上。に
 志。し。ふ。道。を。前。に。論。じ。し。今。又。い。ふ。に。も。い。ふ。
 次。も。い。夫。婦。の。道。成。重。し。と。い。ふ。い。ま。より。妻。成
 去。と。い。ふ。と。い。ふ。に。大。法。あり。婦。人。淫。乱。に。あ。り。
 男。姑。に。は。り。あ。り。又。嫉。妬。め。り。と。い。ふ。と。い。ふ。盗
 み。が。り。す。と。い。ふ。法。に。お。ひ。て。本。と。す。べ。い。と。い。ふ。れ。と。い。ふ。
 其。妻。親。の。家。な。り。て。歸。す。と。い。ふ。所。な。り。と。い。ふ。
 我。と。年。こ。ろ。父。母。の。喪。成。と。い。ふ。に。あ。り。又。と

一。其つげりけし
 王有道し。人
 人を傷ふ事なかり
 一。墳守をへる
 人死傷ふてけし
 といふに。さあ。其
 依る。あ。一。碑
 け倒さ。い。さ。の
 事あり。あ。い。か
 乃。い。あ。ん。然
 に。免。角。い。ん。は
 い。あ。い。か。う。て
 一。郷。情。を。破。一。
 其。依。は。す。と。何
 乃。愁。あ。ん。と。捨
 お。けり。も。ん。けり

前より貧賤ふ。後より富貴なれ。大なる不義
 け外ハ。法にあらざる。今の世法みる。
 或る其妻に愛着して。常に悪行あるをもち
 ず。或ハ其妻よりせふ事なきに。多事れなり。
 法をすきて。離別をもち。いづれも
 い。一。法にたうひ。家のにさす。い。か。い
 一。又在家の人。父死して。父れ妻を妻や
 するものあり。人倫法みたり。常法破るといふ
 一。其外ちか。親類の後家法妻とする事。
 い。き。ある。は。一。事。なり。に。け。け。郷。村。に

事。い。か。の。あ。い
 け。に。其。郷。乃。人。あ
 け。い。あ。い。けり
 一。崇。敬。を。一。けり
 後。い。尚。書。と。い
 大。官。に。上。けり。是。敬
 け。一。字。を。一。けり
 一。い。人。と。あ。い
 一。怒。あ。い。あ。一。家
 和。睦。一。一。郷。は。い
 一。其。郷。里。和。睦
 俗。化。せ。し。所。あり
 王。法。天。道。に。忽
 ち。報。ひ。来。り。けり
 天。官。小。を。上。り。也。

あ。い。人。も。是。の。不。義。法。相。た。う。ひ。一。吟。味。す。を
 一。け。相。す。い。け。道。法。い。る。常。に。い。け。い
 一。い。い。を。述。や。い。い。い。け。問。を。定。り。けり
 事。と。い。い。け。い。い。礼。義。法。け。一。真。實。の
 一。い。い。け。い。す。い。一。水。火。盜。賊。不。慮。け。難
 一。い。い。合。力。一。隨。分。を。い。い。す。一。
 行。跡。乃。あ。い。人。を。い。度。を。い。い。い。い。諫
 一。賢。徳。あ。い。人。を。い。敬。ひ。學。問。あ。い。人。を。い。親
 一。材。藝。あ。い。人。を。い。い。け。い。無。能。な。い。人。を
 一。教。へ。誘。ふ。あ。い。い。い。い。け。い。者。を。い。い。け。い。い。

沈富氏といひける人。
 生付我修つり。よ
 かめ行跡の多う
 りに。具子も又親と
 ひと。無理我慢
 ろあるまひのみふ
 だ。父子とをにあう
 常に入とあう
 喧嘩口論をね。い
 さうけて。勤あを
 あう。常に。罵り怒り
 人をも恥か。や
 すれ。い。ち。た。ま。で
 悪行の。け。な。い。ぬ。其
 中。あ。を。毎。年。正。月。十

愁ひ。あ。い。ひ。人。を。い。ひ。な。く。さ。め。孤。児。寡。婦。老
 病。か。て。ま。か。し。人。を。い。ひ。な。く。さ。め。困。窮。無。力。乃
 人。を。い。ひ。賑。へ。い。ま。う。な。べ。い。ま。う。一。郷。の。人。を。い
 ひ。合。て。一。家。に。親。一。み。ふ。な。ち。か。ん。い。う。く。和
 睦。せ。う。事。や。あ。い。ま。い。

詩曰

我勸世人睦鄰里
 須知海内皆弟兄
 從來和氣能致祥
 東家有粟宜相調

仁里原從和睦始
 安得鄰居分彼此
 自古鄉情稱美水
 西家有勢勿輕使

偶逢患難必扶持
 同鄉共井如至親

若遇告狀相勸止
 我勸世人睦鄰里

五日。夜。村。に。神。哉
 む。う。ん。神。輿。を。持。ま
 け。る。事。あり。然。き
 に。村。の。人。沈。富。乃
 田。に。勝。を。す。る。事。あり。父。子。擲。け。り。ち。ち。た。け。し。も。ど。か。け。り。手。あり
 け。る。一。居。る。事。あり。誰。手。向。も。る。者。を。ね。う。り。又。或。年。早。天。あり。水。と
 一。か。り。に。彼。父。子。け。者。人。の。構。の。水。成。車。あり。我。田。の。の。引。め。れ。や。
 其。あ。う。く。一。ふ。に。お。も。れ。了。是。は。答。る。者。を。ね。い。一。他。人。水。成。車。入。て。沈。富。の
 田。に。あ。う。け。通。る。者。あり。其。車。を。う。な。ひ。或。ハ。水。道。を。塞。ど。人。に。さ。れ。て。一。言
 け。り。あ。の。の。一。村。を。な。怕。き。居。る。一。か。或。日。忽。然。と。雷。火。下。り。沈。富。親。子
 ろ。者。雷。火。さ。う。れ。て。焼。死。け。る。や。是。さ。ひ。ひ。ひ。王。法。の。刑。罰。法。さ。め
 か。き。居。たり。一。を。天。道。い。う。て。う。ゆ。る。一。た。ま。ら。ん。や。か。其。報。け。速。さ。る
 法。が。ひ。か。う。て。常。に。郷。村。の。ま。り。り。小。敬。を。守。り。つ。と。め。て。む。へ。ま
 か。ん。事。を。ね。か。ひ。かり。め。あ。を。人。の。惡。行。あ。け。己。け。たり。が。る。事。あり。
 慎。う。と。む。一。事。あり。

孟母

孟子三才のちれ。父死
たしひけき。其母孟子
らむに。父の墓れ。を
す。居り。たしひけ
孟子常のたむむ色に
も。葬式けす。母はてあ
る。びた。母是を子
成や。の所。おあ
す。市。か。さ
お。住。た。す。母
は。来。り。て。り。ハ。孟
子。買。易。れ。す。母
は。た。る。む。き。あ。る。
母。是。を。と。り。て。お
と。我。子。を。養。育。ん

教訓子孫

凡在家は子孫成に。子孫人から
け。家。を。お。あ。り。人。が。あ。け。も。家。を。慕
是。る。人。の。さ。る。事。な。れ。ハ。大。家。小。家。と。も。に。誰
子孫れ。成。成。れ。う。さ。る。と。然。る。子孫生
も。か。つ。つ。ふ。て。も。さ。る。ま。し。な。り。必。ず。教
訓。お。ふ。ハ。其。教。訓。の。法。ハ。幼。稚。れ。時。より。才
一。父。兄。は。ほ。く。尊。く。年。ま。す。け。く。孝。者。を
敬。道。成。ち。り。ゆ。け。言。語。ハ。偽。り。な。き。や
う。ふ。い。り。か。起。居。ハ。か。あ。る。静。け。な。り。孝

とある。いふ。事。成。は。む。か。に。ふ。る。や。う
其所成り。學文
所の。と。う。た。う。り
住たふ。あ。ふ。り。常の
あ。と。び。ふ。礼。義。成。ま
な。ひ。た。ま。ひ。け。き。あ。う
う。と。我。子。成。養。ふ。る
き。と。う。後。な。り。と。う
ひ。た。ま。ひ。孟。子。も。学
校。入。る。も。ん。ず。ら
に。學。文。一。た。ま。ひ。け。き
其。後。孟。子。を。ふ。一
學。ま。た。ふ。り。家。一
か。り。来。り。た。ま。ひ。け。き
に。お。り。せ。る。母。の。校
成。お。り。て。居。る。ひ

やう。ふ。と。い。ま。し。め。事。成。は。む。か。に。ふ。る。や
ふ。と。い。ま。し。め。人。に。は。一。う。ふ。る。無。礼。な。さ。う。に。い
乃。一。む。る。一。朝。夕。出。入。は。常。に。う。り。成。つ。け。る。
み。た。り。に。他。行。成。ゆ。す。べ。か。ず。飲。食。衣。服。を。常
に。驕。成。制。一。て。自。由。に。過。分。成。ず。さ。一。む。る。か。ず。
勿。論。一。切。無。益。れ。も。あ。る。物。を。す。さ。好。て。日。成
費。す。事。あ。る。一。む。る。か。ず。古。く。朱。は。近。づ。け。い
赤。く。墨。は。近。は。あ。ら。う。後。一。と。い。り。か。り。お。も。遊
女。博。奕。れ。場。一。あ。る。も。一。む。る。か。ず。輕。薄。浮。氣
の。輩。に。は。一。う。う。一。む。る。か。ず。常。小。學。文。を。し。せ

ける。今其方。學文
成就。せ。し。て。帰。り
ま。う。た。ら。我。織。か。け
た。る。緒。を。た。り。ま。う
く。と。一。と。て。其。織
か。け。を。も。加。て。た
ま。ふ。孟。子。お。も。り。き
に。も。ま。是。う。り。志。一
成。成。一。學。ひ。た。ま
ひ。す。終。一。大。賢。や
い。か。り。た。ま。ひ。け。き
なり。
柳。公。綽
柳。公。綽。と。い。う。人。毎
朝。う。や。く。起。出。て。
子。弟。を。教。る。に。さ

て。聖。賢。れ。道。成。志。一。む。一。然。る。其。子。の。生。質。小。う
て。後。日。一。徳。を。ほ。る。名。成。あ。ら。う。一。て。世。お。も。用。ひ。う。る
か。と。ふ。と。い。う。り。又。い。ふ。と。に。ま。う。す。と。身。成。守。り。家
成。も。の。ふ。と。な。ら。う。な。ら。う。ま。い。け。る。女。子。ハ。縫。針。の。事
成。に。一。ゆ。い。ふ。及。る。唯。平。生。業。和。成。本。と。一。て。
何。事。も。穩。便。一。負。信。な。ら。う。と。と。教。訓。を。一。然。る
い。成。長。の。後。人。の。家。に。婦。と。な。り。て。ま。男。姑。は。之
夫。に。一。た。う。ひ。下。部。の。女。ま。う。も。な。り。け。る。家。内。成。和
け。け。の。一。な。う。く。無。冒。れ。福。と。な。り。ぬ。一
近代。以。来。父。祖。た。う。ふ。者。教。訓。の。法。成。あ。ら。う。其。子

衣服正しくありた
させ。西親の機嫌
をうけいせ。夫より書
を讀め。終まに立居
より言語する。礼義
行事は。先祖より乃
其家。先祖より乃
風儀。然るに。此
乃柳公綽。尚書と
二大官。其兄公權と
二つ。ある。官あり
。子身は。常に蔬
菜のみ。食さ。め。
學文成就の上。ある
。され。魚鳥。食す
事。ゆる。たま

孫。然るに。は。家。を。な。す。唯眼前の愛。弱。さ。一
切の飲食衣服言語奉動する。小兒。氣。隨。する。然
り。是。お。より。子孫。たる。者。幼。女。より。一。言。け。し
。話。を。さ。う。す。一。毛。の。好。事。な。み。す。其。習。ハ。一。僻
。と。なり。放。逸。の。の。好。す。假。し。と。礼。義。の。正。な。事
。成。さ。ず。た。ま。學。文。を。も。む。と。い。ふ。人。た。る。道。を
。教。ん。は。せ。す。一。唯。是。を。の。る。名。利。の。味。と。す
。ふ。其。子孫。た。る。學。文。す。と。い。ふ。と。道。理。は。あ
。何。を。自。得。と。ふ。我。身。に。行。ひ。し。に。あ。る。何。の。益
。か。あ。ん。と。い。ふ。或。は。貨。財。を。貪。り。或。は。酒。色。を

す。公綽の妻。韓氏
といふ。賢女なり
ける。熊。膽。は。苦。さ
。と。り。合。せ。丸
。藥。と。な。し。お。は。是。を
。子。身。に。合。せ。せ
。苦。学。する。事。成。さ
。む。され。其。子。乃。
。仲。邦。と。い。ふ。又。尚。書
。に。官。に。至。り。ぬ。是。を
。子孫。成。さ。す。ゆ。い。は
。各。其。志。を。あ。げ。し
。賢。者。成。生。し。父。母
。乃。名。を。さ。す。あ。る
。に。つ。く。と。い。ふ。人
。然。り。ち。ひ。て。教

ぬ。けり。に。月。く。惡。名。成。り。身。を。持。く。け。一。く。父。母。に
。難。義。成。け。り。と。い。ふ。又。女。子。を。家。に。あ。る。と。い。ふ。
。教。訓。の。法。あり。氣。隨。し。と。い。ふ。ゆ。に。す。る。に。人。に
。嫁。し。と。い。ふ。家。成。か。さ。む。る。事。か。る。と。い。ふ。追
。出。さ。る。者。を。世。に。其。き。め。し。に。月。く。是。か。り。と
。し。と。子孫。乃。と。い。ふ。も。あ。る。後。其。か。み。け。教
。訓。の。法。た。ぶ。う。ゆ。け。り。志。う。れ。親。の。慈。悲。あ。も
。と。む。く。に。あ。る。と。い。ふ。孔子。を。子。成。愛。せ。苦。勞。成
。さ。せ。と。い。ふ。宜。し。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。と。い。ふ。事
。成。り。

王瑤

我勸世人訓子孫
良玉不琢不成器
寢坐視聽胎有教
黃金萬兩有時盡
養子不教父之過
世間不肖因姑息

子孫成敗關家門
若還驕養是病根
箕裘子治武當純
詩書一卷可常存
愛而勿勞豈是恩
我勸世人訓子孫

孝不勞ふそなり。あまりけ事に親類近所の者より。訴
捕とせり。終り死罪は行かれぬ。父は王璠獨りとす。數十
人共けり。或時其所の城中にある。鎮守は社は王垣の下
王あやしみ。折しも晴明乃前一日の月夜ありけし。何者

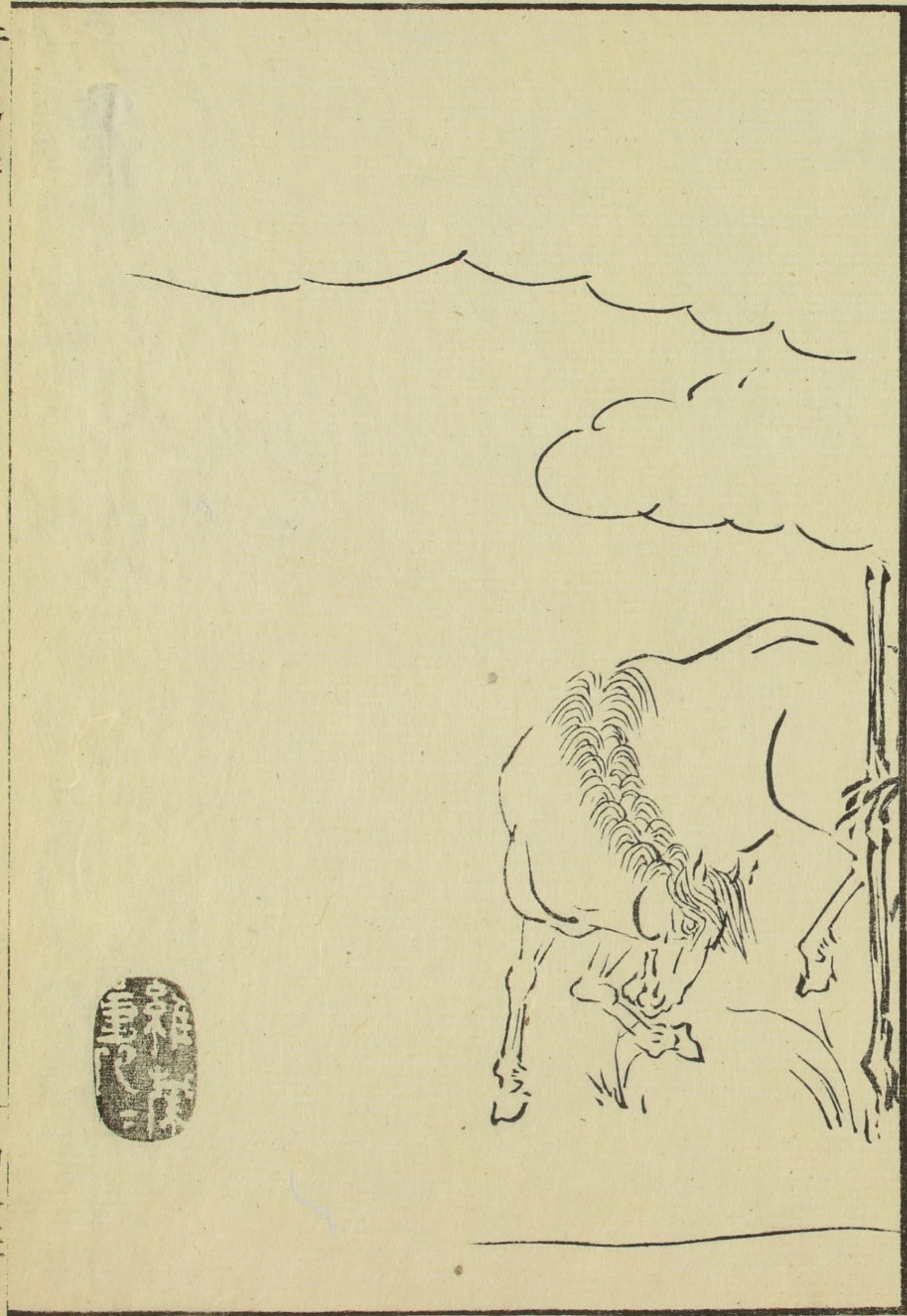
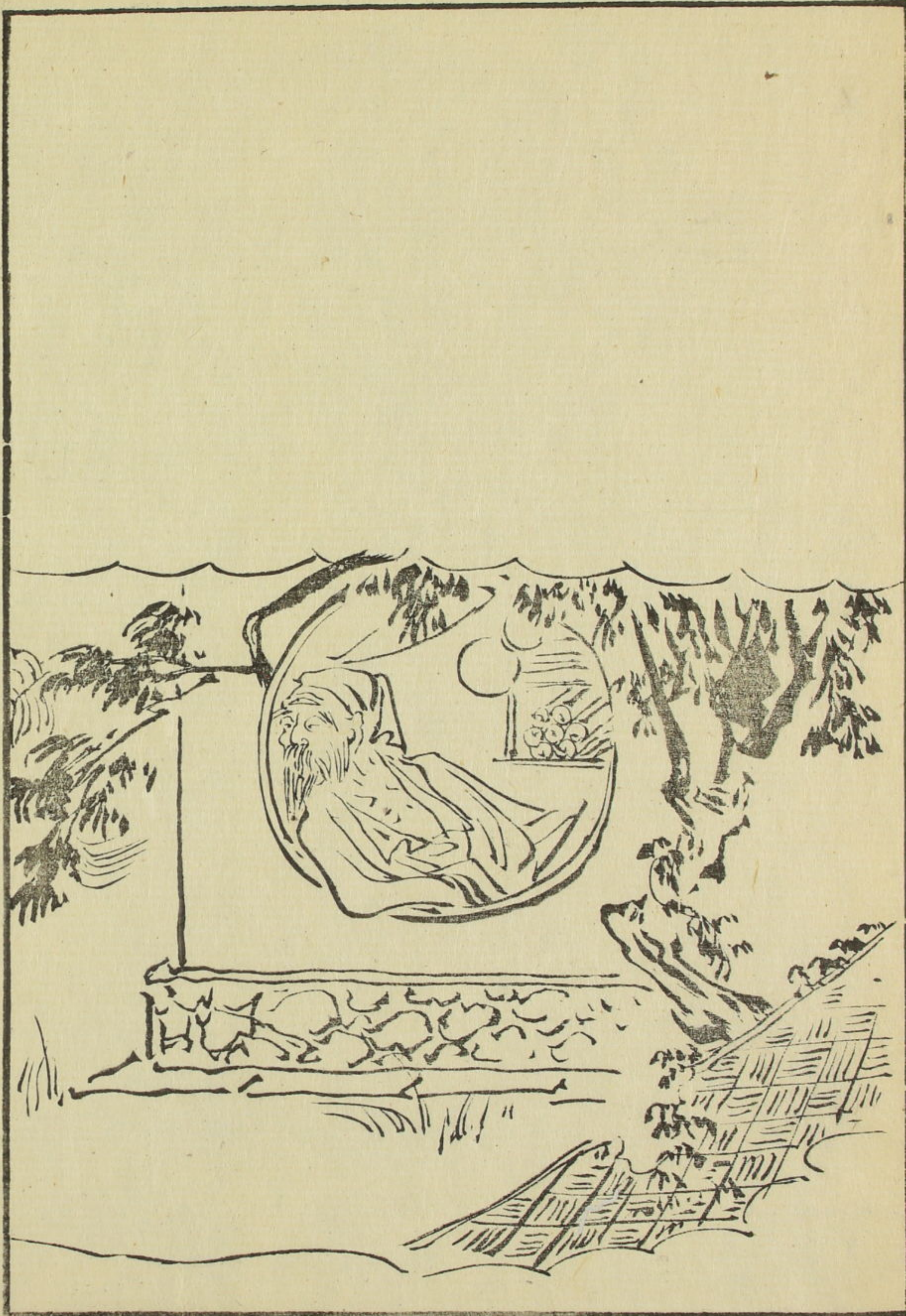
やんと行て見よ。あや——き男訴狀成りたり。晴明乃祭祀成るをひらふ
とも祓ふなり。鎮守は神怒り等々たすふやうい。汝子あれど。教訓する事
あり。不孝不弟なり。其家乃亡びたるなり。誰人か。汝も祭祀成あるえん
やとあり。其姿を見ずなりぬ。神主あや——き事なかりし。翌日はをくぐ
祓てこれい。王瑤ある事成りけり。子成にえざるの罪。かつと
おそろしき。世の人相同しい。愛小弱きて。子成にゆる事成たまふ。
却て我依不法う事成長さ。成長の後。俄り不其不孝成怒
り。身持のあま浅書るを。いに詮方なり。されい幼稚の時より。教
訓いせめ。さやうに。道成る。め。法成る。め。其家
乃祭祀を絶ざるやうになす。な事なり。

成徳と人あり。生
質ありの依なり
事なり。正直
事なり。其業とす。い
耕作織物あり。或
人厚利を得ん事
あり。め。盛徳
あり。なり。なり。
世の事なり。なり。
け。あり。なり。
心あり。故に人を算
なり。織物を離す。唯耕
作。織物と其害
なり。我此二つを
外にせずといひて。

盛徳

各安生理

天地の間。生るもの人。貴賤貧富。議論も
事なり。人我にあり。所作り。是の生
涯。一つ。定りたる道理なり。ゆに。生理と名づく。
此生理。おちけ。外にあり。め。各生
理を。安んずるといふなり。さ。人。の。品。性。
あり。なり。先士たる者。ハ。學文。武。藝。を
た。なり。義理。なり。公役。をつ。む。是
士。生理。なり。次。農人。ハ。耕作。つ。め。た。
月。ハ。年。貢。なり。職人。ハ。家。藝。なり。



精くして。所傳乃なまひ。我うゝあゝ。商人。賣買
 せむねみ。非分利をもとめず。都て此四川の民
 うもに各志。我うゝ。我うゝ。當り。心職分
 我は。えは。ものづか。我に當り。た。衣食あり
 一。生安穩。ふ。て。す。其外定。なる。産
 業。一。て。負擔。日傭。な。て。世。わ。は。者あり。
 一。た。謗。も。天より食物。な。人。を。生。に。とい
 へ。是。れ。人。も。た。は。間。か。せ。に。せ。我
 に。當。る。衣食。が。な。う。ま。又。女。人。も。
 生理あり。古。も。國主。乃。后。ま。手。は。秋。蠶。繅。で

衣服^{いふく}はけ^はく^くふ^ふとい^いふ^ふ。況^{いはん}やそれ^{それ}より以下^{以下}れ^れ人^人。
 いさ^いり^りに^にあ^ある^る一^一か^かず^ず。お^おう^うを^を在^ま家^けの^お婦^う女^よハ^は華^は
 麗^{まい}汰^たあ^ある^るま^まに^に遊^{あそ}戯^びを^をた^たの^の一^一ま^まず^ず。常^{つね}に^に機^{はた}お^おり
 ま^まの^の縫^ぬい^いで^では^はけ^けつ^つと^とめ^め。早^{はや}く^くお^おな^なに^にそ^そく^く寝^ねる^る。辛^{しん}
 苦^くは^はい^いか^かう^うと^とい^いふ^ふ。是^こ女^をの^の生^{せい}理^りな^なり^り。唯^{ただ}嘆^{なげ}へ^へ
 き^きい^い世^せ上^{じやう}の^の人^{にん}男^{なん}女^{にょ}と^とに^に幼^{よう}女^{にょ}より^{より}氣^き隨^ずに^にそ^そぶ
 は^はゆ^ゆふ^ふ。年^{とし}長^{なが}く^く後^{のち}を^をた^たら^らふ^ふに^にあ^あら^らう^う。我^{われ}
 に^に當^{あた}り^りたる^る職^{しやく}分^{ぶん}れ^れ事^{こと}は^はあ^あら^らふ^ふお^おう^うず^ず。目^め前^{ぜん}
 ろ^ろた^たの^の一^一み^みふ^ふ。む^むな^なり^りく^く日^ひは^はた^たる^るま^まの^のた^た月^{げつ}。一^一
 ぢ^ぢう^うん^んば^ばく^く富^ふ貴^きの^の家^けは^は生^{せい}き^きる^る人^{にん}も^も。か^かつ^つて^て艱^{かん}

其分枝やまんすふ
事かある。さうく
に心身を勞し。富貴
成らう。その其分
に安んず。その迷ひ
なり。能考へ。慎
む。事なり。

薛敷

薛敷といふ人。付
から材智ある。その
み。筋がき事。に
厚利。成る。その事
を。の。業。と。解
ける。中。め。を。身。の
得。なり。なり。許
状。を。に。く。に。や

難を。常におく。れ。所。従。り。が。付。れ。美
服。身。小。ま。し。厚。味。口。は。あ。い。川。ま。さ。か。う。ま
一。と。お。け。た。り。あ。め。と。一。旦。時。り。は。り。勢。ひ。さ。め
ま。さ。ま。過。か。一。富。貴。ち。一。宵。れ。夢。か。一。日。ふ。ろ
飽。煖。ふ。ろ。何。の。材。藝。と。な。り。世。話。と。な。り
う。け。き。と。漸。小。お。ち。ぶ。き。て。庶。民。小。下。る。と。
む。か。一。り。其。き。め。一。ず。き。に。あ。る。身。も
と。輕。な。人。り。遊。ろ。け。好。む。と。一。同。う。て
け。も。或。ち。遊。女。に。ま。さ。さ。ふ。或。ち。博。奕。を。好。む
酒。小。ひ。と。色。り。溺。也。昼。夜。家。業。成。す。て。う

ら。が。き。事。を。と
あ。る。有。無。と
一。に。其。理。の。な。き
事。ふ。も。う。や
ら。一。理。ある。と
か。せ。一。人。に
是。を。の。高。金。成
た。り。一。大。富
成。り。又。常。り
神。佛。の。富。貴
成。り。ひ。け。ろ
或。時。道。士。成。請。し。
醺。を。一。願。書
成。抹。の。一。に
一。陣。の。風。吹。き。て
其。願。書。を。高。く

か。き。あ。る。に。一。家。財。を。つ。と。朝。夕。の
い。ろ。も。ま。さ。や。う。け。き。と。に。ひ。の。外。り。惡
ト。事。成。る。み。づ。一。災。難。一。あ。る。有。り
か。一。遊。樂。成。好。む。一。何。れ。と。我。職。分
れ。事。成。一。筋。小。ま。さ。か。う。な。り。他。人。の。一。あ
ま。成。り。一。非。分。り。事。成。の。願。ふ。人。あり
い。ろ。思。慮。め。ろ。す。と。一。必。竟。と。り。ま
り。一。心。な。り。一。遂。り。一。事。も。好。一。あ。せ。一。は
事。成。一。是。り。一。名。利。ろ。ふ。ろ。一。あ。る。一。は
事。成。一。め。ろ。一。か。一。一。貧。富。貴

ふさあけ。あつて
 あつて空中。う。
 其願書へ裏書なり
 て飛下りぬ。いりなふ
 事。いりなふ事。
 まうし。薛敷行險
 微幸。喪心。生理。家付
 火司。人。付。永。神。
 ありける。薛敷あま
 での事。に。あつて。ま
 おそれ。居。り。果
 して。日。数。十。日。後。屋
 お。あ。う。ち。に。失。火。
 家。を。財。宝。を。
 一時。小。焼。失。た。り。
 又。半。年。を。あ。つて。

賤し。天命。定。り。て。あ。れ。い。う。く。人。の。力。あ。つ
 る。か。る。さ。唯。我。り。あ。つて。は。職。分。を。勤。日。に。好。事
 行。ふ。今。より。行。先。代。を。か。ず。万。町。の。田。代
 持。て。も。日。に。食。も。あ。り。三。度。に。も。ま。ず。千。間。の。度。ふ
 住。る。も。夜。の。眠。る。八。尺。に。と。り。あ。れ。常。に。我
 に。事。は。や。知。る。外。代。り。あ。つて。あ。つて。あ。つて。
 ず。あ。つて。は。な。り。や。り。生。理。代。や。ま。ん。ず。る。事。な。り
 ぶ。る。さ。

詩曰

我勸世人安生理
 采枯得失命安排
 妄想心高百無成
 藝多不精不養身
 皇天不負苦心人
 更知微幸斷難行

素位而行稱君子
 士農工商業莫徒
 厭常喜新沒終始
 遊午好閑窮到底
 須知安分能守己
 我勸世人安生理

俄。小。雨。眼。を。あ。つて
 盲目。と。なり。ぬ。或。日
 其。子。に。手。代。を。あ。つて。川
 け。な。り。と。通。り。に。
 い。う。あ。つて。ま。ち。け。ん
 親子。一。所。小。川。を。あ。つて
 死。け。き。二。時。は。其
 家。を。絶。け。は。是。生。理
 安。ん。ま。う。と。あ。つて
 す。て。分。外。の。財。利
 我。食。り。人。を。あ。つて
 迷。う。せ。一。天。罰。あり。ま。う。と。あ。つて
 乃。老。翁。あり。家。は。飼。置。た。る。馬。を。あ。つて
 了。損。せ。う。と。あ。つて。翁。も。あ。つて。い。う。け。い。う。け。い。う。け。
 事。あ。る。もの。と。あ。つて。過。り。た。り。い。う。け。い。う。け。い。う。け。
 ま。う。と。あ。つて。連。立。ま。う。と。あ。つて。先。づ。問。来。一。人。は。是。我。聞。つ。て。あ。つて。め。て。た。き。

あつやうふ。おふく能
 熱いゆれ。なない
 まゝ人の苦い事
 やある。たつゆめ。
 彼老人おふく。やう。
 今かく世ゆ。やう。
 とつと三付の害あり
 是をなやう。
 周處其三つ
 被害何く。やう。
 老人おふく。南山
 小額の白き虎あり
 人おふく。やう。
 子成喰まて
 かな。あ。又ニ
 川。長橋の下に

す大悪少に至るゆへ。世は法破。罪に陷る
 人あり。身成り。家破る人あり。其時
 に至りて。後悔する。我ら。た
 る事あり。我ら。受。禍。誰。う。
 誰。然るに前車の覆ふ。我見。悪
 成荷。か。後車。い。成
 志。世。諺。た。死。
 川。川。と。あ。事。
 必。あ。事。た。幸。
 か。禍。の。何。頼。ん

三。人。馬。喰
 三。貴方の勇氣
 つ。上。な
 下。あ。ま
 此。事
 仕。人
 安。此
 付。人
 た。人
 周。人
 我。是
 人。老
 除。一。郡。の。人

其外世の材智とあり。器量とある人多。然
 る。或。邪智によりて事成。人を欺。
 或。血氣にぜ。礼を乱。法破。その
 所行を考るに。非。事。あ。
 邪。又。生。質。弱。人。平生。月
 日。送。た。日。非。
 多。年。あ。来。今。あ。
 悔。も。事。に。う。捨。
 人。あ。大。非。事。い。我。人。聖。賢
 に。あ。誰。あ。唯。一。念。發

起して。おのまけ非哉あつたむきい。今日より一
下りた人なり。まゝとて道にもろろまゝふ人なり。一
歩ひ足成轉して引返せば。本道に出るが如し。
又世に人倫う道をばねらるるにいて。唯神成
信して。生前れ福をいのふもあり。又ハ佛成
信して。死後のたろひを祈ふもあり。今
是の人のれたるふいも。神ハ善小福。惡小禍す。
やうやう。其の心誠なり。いのすゝめを
守る。其行ひ不善なりと祈るも。何の
益あるや。又佛法も。慈悲成とて。貪欲をい

まゝいふはさうす。されば儒道はかゝる神道
 佛法といふを。とかく我身れ非れやめずしてその
 教りかゝる事。うゝ。但しそれは付ても。
 身乃うの非もやめす。心れ上の非もやめか
 たーと見て。たゞひ外に仁義せよせよ行ふと。
 隠悪うやう残存せ。人を欺き得ると。天をあ
 さむを得。王法の罪いのうと。神明の譴を
 のかるゑや。されば人間に私語。天に聴は
 雷れ也。世上の私事。神の目には電れいと
 ーといふ。何とにそれ慎まふべし。

言をりつ。行跡い
 いうふも恭敬を守りて
 慎み。三月。一
 了。其方名茂せり
 了。呉亡。後晋の
 惠帝。つう入る。兵
 部尚書の官ふり。
 齊万年といふ者殺
 及の時。討手にむり
 以。忠信を専らとし。
 義。帝其忠義を
 かん。帝其忠義を
 將軍。追贈あり
 けり。

詩曰

我勸世人莫非為
 只因一點念頭錯
 姦淫賊盜方終起
 拋屍露骨身難保
 縱然逃得官刑過
 及至回心猶可救

總詩

聖人之道六言足

非為由來是禍基
 詎料終身自喫虧
 徒流絞斬即相隨
 帶鎖披枷悔是遲
 神明報應不差池
 我勸世人莫非為

天下太平此一書

陣三公

陣三公といふ人平生

果能實々通行公

便是唐虞三代初

空言の。お。辨。言さ。や。訴。状。を。た。く。み。ふ。す。且。常。小。人。を。欺。き。誣。
 爭論を好む。惡事の。お。其。郷。の。人。に。怖。ま。て。て。つ。ま。ぬ。歳。四。十九。ふ。む。り。
 けり。三月。三日。其。所。の。祭。祀。あり。社。内。は。踊。る。ひ。見。せ。物。あり。て。
 老。若。男。女。群。集。る。す。陣。三。公。を。参。詣。す。一。け。る。俄。に。狂。ひ。し。其。は。
 人。は。縛。り。て。や。に。し。ぬ。且。大。あ。る。聲。張。い。し。私。是。より。後。ハ。変。一。
 人。の。害。を。な。す。ま。一。命。を。ゆ。り。た。ま。と。口。も。さ。め。泣。き。け。ひ。ぬ。
 小。群。集。る。老。若。に。あ。や。み。見。居。たり。に。つ。つ。其。依。ふ。と。あ。さ。
 け。人。より。社。門。外。に。か。な。出。せ。に。惣。身。は。色。青。く。黒。く。なり。
 死。け。り。と。ぬ。是。常。小。非。為。成。な。し。た。月。く。人。を。誣。り。惡。報。也。
 四。十九。に。至。る。幸。ひ。刑。罰。せ。ぬ。と。い。と。天。罰。也。
 速。に。報。し。た。か。は。あり。さ。め。い。なり。ぬ。嗚。呼。人。と。善。む。り。惡。報。
 孝。弟。恭。敬。の。慎。み。あ。る。自然。其。善。報。ふ。り。身。安。く。保。
 へ。私。欲。の。迷。ひ。終。に。惡。事。成。た。く。其。身。苦。し。刑。戮。ふ。り。或。
 天。罰。を。蒙。り。惡。報。を。受。善。惡。應。報。む。き。の。物。不。應。ふ。り。實。

にたふし慎んで非為にすすむ事なり

附て言。享保乃頃まゝ。今世のふと。書坊の店に出す者
板等ふも。物れ本とのまゝ。大道の物れ本とて賣
あつと。新板の書あるも。其書乃外題をすびあ
きけるなり。亦に此六論行義大意。京江の書坊に
板木を下し賜。諸國の御觸なり。又手習素讀
指南の寺子屋の者共。精々教誡致さ言。別後。仰度作改
事。其外題をひて賣あるに。家ふは是れか
求ぬ。又其身分ふりて。是を印施する者も。向く。遠
國のふも。所に印施乃本に同く。辺鄙といふも。至
る処あり。盛んは行われ。知郷若かり。項。古老の
物語まきける。とて。上梓の書おやくなり。此項より
れ事なり。今世に至る。年々月々に刻あり。文化
の盛んなる。和漢の其例はれり。事。ふも。なる
たろなり。實あり。か。事。ふ。は。れ。

六論行義大意跋

世之能學問知義理者姑舍無論已。其
餘農圃陶冶販鬻之徒比屋樹畜竈炊
于閭左鄉曲何翅億萬苟無教道以率
之徒知競錐刀事煖飽而已使之服勤
共職亦已難矣況乎物我町畦骨肉相
軋豈可遽以孝悌敦睦之行責之若教
以詩書之言督以聖詰之訓彼將藐乎
不聞褒如克耳曷若以淺近易入之言

誘之使其馴致而至於善爲愈孔子曰
民可使由之不可使知之周禮有讀法
之會後賢有鄉閭之約所以扶翼黌序
維持風教亦不過使民由之爾自學校
之政不脩而後獨以號令教天下世主
憂其化之擁闕於下也法驅刑威科條
繁興密網深文以囂民聽則有之未聞
有軫念霄旰託意渙汗諄諭民於道
者及明興廼始倦諭告之詔常與刑

律並布天下觀夫清帝六諭亦規
而倣爲之豈以夷變於夏者耶至於會
誓范鉉就以民俗之語爲之行義可謂
善於教諭者其於奉上令下兩盡之矣
本邦表東海號稱君子之國方今遇禮樂
之興文獻輻湊治具畢張而六諭之書
爲政議所取於是
特旨並書授臣直清撮其大意譯以國語
遂付有司雕印以行於四方代道鐸之

令惟冀爲守令者祇承

德意以令郡縣爲下民者朝夕美牆以訓

子孫更相倡隨陶鎔成化遂將階鎬洛

之治致刑措之隆焉豈小補之云哉

享保七年歲次壬寅春二月二十五日臣

室直清奉

教撰

